

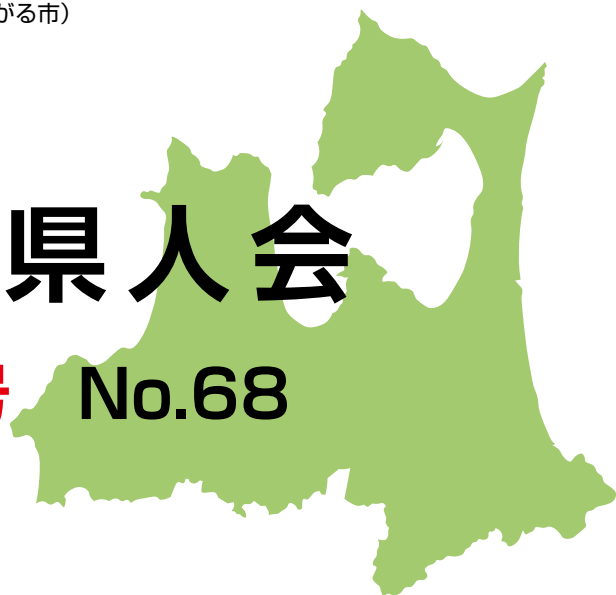
近畿とあおもり



高山稲荷神社（つがる市）

近畿青森県人会

2024 新年号 No.68



ご挨拶

近畿青森県人会

会長 小宮山 さき子



新年明けましておめでとうございます。
会員の皆様方、お付き合いを頂いている関係各位の皆様方にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。また皆様方には平素より、県人会活動にご協力ご協賛を賜り熱く御礼を申し上げます。

コロナ禍による規制が解けて、県人会はやつと通常の動きに戻ってまいりました。
この一年、予定の行事を滞りなく開催できたことは何より嬉しいことでした。

参加された皆様方の表情もとても明るく、「はっちゃけてしまっ

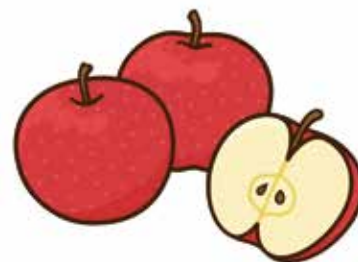
て、こんなに楽しんで良かったのかな」などと言う言葉が聞けて、幹事冥利に尽きると思つたことでした。

また、県の物産品に対しての関心が強まり購買力も昨年より増えていると感じます。

昨年は、三味線・踊り・お囃子・津軽笛等々、身近に郷土を強く感じられる催しが多くありました。芸能発表会で聞かせてもらった三味線は耳に残ります。初めて浴衣姿で登場した踊りは上手下手を超えて盛り上がりました。御堂筋パレードで、久しぶりに見た「ねぶた」と「ハネト」の姿は忘れられません。故郷に帰れなくても故郷を身近に感じられるとは、いい時代と感激しました。

HPが定着し、入会の方は30代から50代の方が多くなりました。加えて70代・80代の参加者が増えました。連絡網としてのグループプラインは大活躍でした。今後はより一層事務方と会員相互のつながりを強めていきたいと思えます。

本年も皆様方のご支援ご協力をお願い申し上げますと共に、皆様方の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



〒553-0003 大阪市福島区福島 1-5-12

TEL 06-6454-1920

津軽の情報満載。

THE MUTSU SHIMPO

陸奥新報

本社 / 〒036-8356
弘前市下白銀町2-1
TEL.0172-34-3111(代)
<http://www.mutusinpou.co.jp/>

東京支社 / 〒104-0061
東京都中央区銀座2-8-5 石川ビル7階
TEL.03-3561-6733
FAX.03-3561-6734



年頭挨拶

青森県知事 宮下 宗一郎



皆様には、ふるさと青森を離れながらも、私達と心をついに、様々な場面で本県のイメージアップや情報発信などに御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、私は、県民の誰もが県政の主役になれる「青森新時代」を掲げて知事となりました。「若い人たちがあふれて、若い人たちが戻ってくる青森」「お年寄りも含めて全ての人に居場所があつて健康で長生きができる青森」を目指していきます。

そのために、子ども子育て政策や教育環境の充実、魅力ある雇用の創出や所得の向上、平均寿命・健康寿命延伸に向けた健康づくり

の推進などに積極的に取り組んでいきます。

また、昨年、世界自然遺産登録三十周年を迎えた「白神山地」と特別史跡三内丸山遺跡などで構成される世界文化遺産「北海道・東北の縄文遺跡群」という本県が有する二つの世界遺産をはじめ、豊かな自然、奥深い歴史・文化、新鮮で郷土色豊かな多彩な食などの魅力を強力に発信しながら、国内外の多くの方々に本県を訪れていただけるよう取組を進めるなど、青森新時代に向けた様々な施策に積極的に挑戦してまいります。

さらに、昨年秋には、あおもり米新品種「はれわたり」が、いよいよ全国デビューいたしました。食味が良く、透明感のある白さと、なめらかでのどごしのよい食感が抜群で、毎日食べたくなるお米として、新たな需要をしっかりと獲得するとともに、冷害や病気に強く、作りやすいという特徴を生かして、本県を代表する主力品種として、着実に成長させていきたい

と考えています。

ふるさと青森へ深い愛情を持ち、応援してくださる皆様の御期待に添えることができるよう、時代が求める「実行力・発信力・スピード感」で力強く青森県政を前進させていきますので、皆様には、関西と青森を結ぶ架け橋として、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますの御発展とともに、会員の皆様の御健勝と更なる御活躍をお祈りし、新年の挨拶といたします。

ふるさとからの 新年メッセージ

「市民力+民間力AOMORI 次なる舞台へ」

みんなで未来を

育てるまち青森

青森市長 西 秀記



新年あけましておめでとございます。近畿青森県人会の皆様には、2024年の初春を心新たに迎えのこととお慶び申し上げます。また、貴会が、近畿圏と青森県の架け橋として、日頃から本県発展のため、格別の御支援を賜っておりますことに、青森市民を代表して心から感謝申し上げます。私は、昨年6月の青森市長選挙において多くの市民の皆様の温か

い御支援・御支持をいただき、新たに青森市政を担わせて頂くこととなりました。

その青森市では、「青森ねぶた祭」が4年ぶりに制約のない形で開催され、集計開始以降で最高のハネトの参加者数を記録するなど大いに盛り上がりを見せたところで

また、青森駅西口広場の供用開始や、新町一丁目地区再開発事業（THREE）のオープンなど新たな賑わいが続々と創出されており、今後も、令和5年度には中新町地区再開発事業、令和6年度には青森駅東口の新駅ビル開業や青森市総合体育館のオープン、さらには、青森国際ホテルの跡地周辺での再開発構想が予定されるなど、青森市の市民力と民間力、そして行政の力を結集したまちづくりが進んでいきます。近畿圏と青森県は、平成26年7月の青森—大阪（伊丹）線のダブルトラッキング化に加え、令和2年3月から青森—神戸線の就航に

より、伊丹空港及び神戸空港と青森空港が直行便で結ばれ、近畿圏と青森市はますます身近になっています。

今後も青森市は近畿圏の皆様と交流する機会をさらに拡大させ、「みんなで未来を育てるまち 青森」の実現に向け取組を進めてまいりますので、皆様の御力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会の皆さまの御発展と、会員の皆様の御活躍を心から祈念申し上げます。新年の御挨拶とさせていただきます。



「持続可能な

弘前のまちづくり」

弘前市長 櫻田 宏



新年あけましておめでとございます。近畿青森県人会の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は、白神山地が日本初の世界遺産に登録されてから30周年を迎えました。白神山地は、原生的なブナの天然林が東アジア最大級の規模で分布し、特に核心地域は、最も良く原生状態が保たれているため、その価値は世界的に見ても極めて重要であると評価されています。白神山地の玄関口である本市といたしましても、30周年を

記念した様々なイベントを実施するなど、多くの魅力を発信いたしました。

また、本市では、このような陸上資源などの保護をはじめ、環境や社会に優しい持続可能な取組である「SDGs」を積極的に推進しているところであり、昨年9月に青森県内の自治体では初めて「SDGs未来都市」に選定され、併せて北東北で初の「自治体SDGsモデル事業」にも選定されました。

このモデル事業では、市の基幹産業である「日本一のりんご産業」を将来も持続可能なものとするため、経済、社会、環境の3つの側面から従来の手法に捉われない革新的な事業を展開し、りんご産業の持続的な発展に取り組んでまいります。

また今年も、市の総合計画に掲げている「健康都市弘前」の実現を更に加速するため、各種施策を展開してまいりますので、引き続き皆様のお力添えを賜りますようお願いいたします。

お願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご繁栄と、会員の皆様のご多幸、ご活躍を祈念申し上げます。新年のあいさつといたします。

「希望と活力あふれる

十和田を目指して」

十和田市長 小山田 久



明けましておめでとうございます。

近畿青森県人会の皆様におかれましては、新しい年を健やかに迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の取り扱いが五類感染症に変更され、市の観光産業や地域経済にも明るい

兆しが見え始めた一年となりました。十和田市夏まつり花火大会や、市内最大のまつりである十和田市秋まつりが四年ぶりに通常開催されるなど、市を代表するイベントの実施により、地域に活力を取り戻すきっかけとなりました。

そのような中、市といたしましては人口減少、自然災害への対策や子育て支援など、さまざまな課題に積極的に取り組んできたところであります。八月には青森県との共催による県総合防災訓練の実施、十月には十八歳以下の子ども医療費無償化など、市民の皆様がより安心して生活することができるよう尽力しているところであります。

令和六年におきましても、引き続き第二次十和田市総合計画に掲げる将来都市像「くわたしたちが創る」希望と活力あふれる十和田」の実現に向け、市民との協働を図りながら魅力あるまちづくりを全力で取り組んでまいります。これからも、多彩な地域資源や、

和歌山青森県人会会長
和歌山県相撲連盟会長

橋本 剛

(鯉ヶ沢町出身)

〒641-0052 和歌山市東高松 2-2-21

☎ 090 - 2591 - 1666

和歌山青森県人会名誉会長

榎本 篤子

マルマンビル マルマン駐車場

〒640-8342

和歌山市友田町4丁目91番地

☎ 073 - 428 - 1515 FAX 073 - 428 - 1516

このまちに暮らす市民の知恵と力を最大限に活かし、より多くの人から「住みたい」「住み続けたい」「訪れたい」まちとして強く支持されるよう邁進してまいりますので、皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご発展と、会員の皆様方のご健勝を心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。

市民と協働のまちづくり

つがる市長 倉光 弘昭



近畿青森県人会の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えたいこととお慶び申し上げます。また、日頃からつがる市政各般にわ

たり格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼を申し上げます。

昨年を振り返りますと、本市に念願のつがる市総合体育館をオープンし、プロバスケットボールやプロバレーボールの公式戦では、市内外から訪れた方々の歓声で大いに盛り上がったところであります。今後も、人々の賑わいと交流を創出する拠点として多彩に活用を図ってまいります。

令和7年2月11日、本市は合併20周年を迎えます。私は、ふるさとつがる市のその時折の目指すべき将来像を示しながら、その実現に向け取り組んでまいりました。まだ先に思えるかもしれませんが、来たるべき市制20周年の節目を控え、その機会を市民とともに祝い、本市の魅力発信、郷土愛の醸成、経済活性化、つがるブランド推進、世界遺産の活用、地域文化の保存と振興、行政サービスの利便性の向上など、広範囲にわたる事業を実施することで、効果の最大限発揮を図ることいたします。

基幹産業である農業については、持続的に発展させていくため儲かる農業の実現に注力します。農産物の高品質・高付加価値化、担い手の確保・育成などの施策を展開し、産地の競争力強化に向け、スマート農業導入に向けた衛星測位システム基地局設置など、高収益作物等の生産拡大、農作業の効率化・省力化を図るための取組を一層に推進してまいります。

最後に、本市に生まれ、育ち、生業に励み、その人生がよかつたと誰もが思えるまちづくりの実現に向け、引き続き全力で取り組む所存でありますので皆様の変わりぬご支援をお願いいたします。本年が皆様にとりまして、夢と希望に満ちた一年になりますよう、心からお祈り申し上げます、新年のご挨拶といたします。

「選ばれる黒石の実現へ」

黒石市長 高樋 憲



明けましておめでとうございませう。近畿青森県人会の皆様におかれましては、日頃より郷土愛を持ち、各界でご活躍されており、ことに敬意を表します。

昨年は、日本三大流し踊りのひとつである黒石よされ、扇ねぶたと人形ねぶたが同時に楽しめる黒石ねぶた祭りがコロナ禍前の通常開催となり、よされは、観覧されている方も踊りの輪の中とともに楽しみ、ねぶたは、情緒溢れる街並みを勇壮な掛け声とともに、繊細で美しいねぶた絵が観客を魅了しました。全ての世代が楽しめる伝統あるお祭りを継承していくとともに、国内外へ積極的に魅力を



発信してまいります。

また、津軽圏域14市町村で構成される地域連携DMOにおいて、(株)京阪流通システムズ(大阪)のご協力のもとで、大阪府「くずはモール」にて、(株)松屋(東京)との取り組みで、デザイナーの佐藤卓氏による、津軽こけしの継承と発展へつながる、未来へ向けた新しいデザインの「ルビンのこけし」を京阪カラーで販売いただいたことに加え、店舗内の各所にメインモデルとして起用していただくとともに、津軽の自然が育んだ特産品や工芸品に親しんでいただきました。また、今後も近畿地方において、青森県及び黒石の魅力を発信し、地域経済の発展に取り組みを強化してまいります。

今年、7月で市政施行70周年を迎えるほか、中心市街地内のデパート跡地に市役所機能や子育て支援機能を有する(仮称)市民サービス施設の開館を予定しております。人が集い、子どもからお年寄りまで誰もが安心して暮らすことが

できる「選ばれる市」の実現に向け、邁進してまいりますので、皆様のおたのしみご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、近畿青森県人会のさらなるご活躍とご発展、そしてご多幸を心よりご祈念申し上げます。

「コロナを乗り越え

魅力を発信」

八戸市長 熊谷 雄一



明けましておめでとうございませう。近畿青森県人会の皆様には、希望に満ちた新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、県人会の創立以来、経済・産業・文化など多方面において、当地域の発展のためお力添え

を賜っており、深く敬意を表しますとともに、心から感謝を申し上げます。

昨年は、コロナ禍の中ではありましたが、特別冬季国体は無事開催することができ、また、八戸えんぶりが3年ぶりに開催されました。それぞれ開催期間中に多くの人出があり、街に活気があふれました。

新型コロナウイルス感染症の5類移行後においては、山車の合同運行が中止となっていた八戸三社大祭が4年ぶりに通常開催されたほか、種差海岸三陸復興国立公園指定10周年を記念した第43回八戸花火大会が開催され、多くの見物客を魅了しました。

さらに、10月には第85回全国都市問題会議を開催し、「文化芸術・スポーツが生み出す都市の魅力と発展」をテーマに、全国からお越しいただいた各都市の市長、特別区長、議員を始めとした自治体関係者に当市の取組を紹介したところであります。

本年は、2月に、当市初となるスピードスケートの国際大会「ジュニアワールドカップ」最終戦と「世界ジュニア選手権」が開催予定であり、国内外より注目されるのが期待されております。

また、世界文化遺産の是川石器時代遺跡やみちのく潮風トレイル等を活用して、より多くの方に訪れていただきたいと考えておりますので、あらゆる機会を捉えて、当市の誇る歴史、文化、自然、食の魅力の発信に取り組んでまいります。

県人会の皆様におかれましては、今後とも、八戸市との交流につきまして、一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会の今後ますますの御発展と、皆様の御健康と御活躍を祈念申し上げます、新年の挨拶といたします。



「夢継ぐ、むつ市政。」

「その「コツ」は2つある」

むつ市長 山本 知也



新年あけましておめでとうございます。

近畿青森県人会の皆様におかれましては、新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

1959年9月1日。当時日本一長い名称の市として大湊田名部市が誕生。翌年8月1日には日本初のひらがな名の市「むつ市」が誕生しました。

そして、市政施行から63年と301日。昨年6月29日、下北初のむつ市初の知事、宮下宗一郎青森県知事が誕生し、青森新時代が幕を開けました。

1年の事業だけではなく、この先5年、10年先の未来への道しるべとして、「未来への架け橋」と名付けられた政策を引き継いだ昨年。私は、その設計図を引き継ぎ、未来への架け橋としての事業を市民の皆様とともに、1つ1つ大切に事業を紡いできました。

夢追うむつ市政を引き継ぎ、夢継ぐむつ市政に向かつて、むつ市の明るい未来を形にするため、一日一日、その一瞬、パッション（情熱）を持って、チャレンジするためのコツは2つあります。それは、「まちづくりの主役は市民の皆様」、そして「新しいことにチャレンジすること」です。

しかしながら、私が一番大事にしている「2つのコツ」は、「コツコツ」です。

これはユーモアでもなんでもなく、夢継ぐむつ市政を実現するためには、毎日が重い決断の連続の中でも、困難なことがあっても、この先の1年、5年、10年先の未来への道しるべを描き、むつ市民

の皆様と明るい未来を創っていくためには、希望を持って、コツコツと続ける。そのことに尽きます。

先人の皆様が、日本一、日本初を目指し続けてきたむつ市。日本一、世界一を目指し、むつ市民の皆様とともに笑い、ともに考え、ともに歩んで参りますので、引き続き皆様方のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、近畿青森県人会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



「住み続けられる持続可能な地域づくり」を目指して

五所川原市長 佐々木 孝昌



近畿青森県人会の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、昨年は「コロナからの脱却」をテーマとして、民間主体で各種イベントが開催され、地域に元気が戻る契機となる一年となりました。特に、本市最大の夏祭り「五所川原立佞武多」は二十五周年の節目を迎え、新作の「素戔嗚尊（すさのおのみこと）」など三台の大型立佞武多をはじめ子どもたちが主役の「親子de立ねぶた」も中型立佞武多「金太郎」とともに祭りのメインを飾り、さらに飲食店ブースやキッチンカーが勢揃い

した「ごしよがわらめじゅーストリート」等の新たなイベントが企画されるなど連日多くの市民や観光客で賑わい、街全体が熱気と活気に包まれました。

今年の夏まつりに向けての新作大型立佞武多の題材は「素戔嗚尊(すさのおのみこと)」に決定しており、善悪を裁く「閻魔王」をモチーフに「未来を担う子どもたち」に道を示したい」という思いが込められています。今までに無い構図で見応えのある作品になりま

すので、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

本市は彩り豊かな風土に育まれた多くの特産物を有し、その魅力を発信するツールとして「ふるさと納税」に注力し、りんごや米をはじめ「金木の馬肉」、「十三湖産ヤマトシジミ」や「市浦牛」などさまざまな魅力溢れる特産物を返礼品として県外の方に楽しんでいただいております。現在、県内でもトップクラスの寄附額となっております、これも偏に、本市を応援し

てくださる多くの皆様のおかげであると感じています。

本年も、笑顔と誇りに溢れるふるさとづくりと誰もが安心して住み続けられる持続可能な地域づくりに努めてまいりますので、皆様のご支援を賜りますようお願いいたします。

結びに、設立七十二周年となる近畿青森県人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝ご多幸を祈念申し上げます、新年の挨拶いたします。

「鶴田町の近況と

新年に向けて」

鶴田町長 相川 正光



明けましておめでとうございます。

近畿青森県人会の皆様には、遠く故郷を離れ、各界において広く活躍されておりますことに深く敬意を表しますとともに、鶴田町政にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、昨年は七月以降で記録的な猛暑となり、青森県内でも連日三十度を超える危険な暑さとなりました。農作物への影響として、

水稻におきましては、稲の刈り取り時期を早め調整したものの、高温障害が多く見られたことで、収量は減少しましたが食味には影響はなく、高温の中でも農作業を頑張つてこられました農家を支えるためにも、是非、県産米を食べて応援していただきたいと思っております。また、りんごと生産量日本一であるスチューベンぶどうについては、生育段階で高温が続いたことで、日焼けによる変色や落下が多く見られ、収穫量は例年に比べ減少しておりますが、幸い雨が少なかったためか、味はいつも以上に糖度が高く甘いものが実り

ました。

次に当町が誇る日本一長い木造三連太鼓橋で知られる「鶴の舞橋」でございます。老朽化のため、昨年から三年の間、九月から翌年三月まで、改修工事に着手しております。現在の期間は渡ることが出来ませんが、普段は目にするの出来ない作業風景をご覧になります。いずれも四月から八月までは、通行が可能となっておりますので、鶴田町へお越しの際はお立ち寄りください。

結びに、今後も町民の皆さまと共に知恵を出し合い、鶴田町の発展のため邁進してまいりますので、ご支援ご協力を賜りますとともに、近畿青森県人会の皆さまの今後益々のご多幸とご活躍をお祈り申し上げます、新年のご挨拶とさせていただきます。



「希望に満ち活力あふれるまち」を目指して

藤崎町長 平田 博幸



新年あけましておめでとうございます。近畿青森県人会の皆様におかれましては、ふるさと青森県を愛する心を育みながら広く活躍されておりますことに深く敬意を表しますとともに、日頃から藤崎町政にご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

藤崎町は、世界一の生産量を誇るりんご「ふじ」発祥の地であることから、りんごの栽培には特に力を入れており、生産者の努力のもと、「アップルシールド」や「りんごふじ羊羹」など、りんごを使用した加工品の開発も進めております。

昨今は、遠方の情報もより簡単に得ることが出来ますので、近畿にお住まいの皆様方にも、ぜひわが町自慢の特産品やイベントの様子をご覧いただければありがたく存じます。

また、町ではコロナ禍後、四年ぶりに学校行事や町の各種イベントが通常どおり開催され、久しぶりに多くの町民の方々の笑顔を見ることができ、大変嬉しく思っております。

昨年十月、町民の皆様をはじめ、各方面の皆様から力強いご支援と温かいご厚情を賜り、四期目の藤崎町政をスタートいたしました。

今後も、「みんなで築く 希望に満ち活力あふれるまち ふじさき」の実現に向け、ふじさき食彩テラスを拠点とした食の魅力づくりや移住定住の促進、子育て支援策の充実による人口減少対策、健康づくりや地域づくりの推進など、これまでの取組をさらに発展させ、町民が未来に希望を持てる町政運営に邁進してまいります。

心に宿るふるさと

南部町の繁栄のために

南部町長 工藤 祐直



結びに、貴会の皆様が末永く活躍されますことをご期待申し上げますとともに、新しい年が、実りある幸多き年になりますことを、心から祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。

明けましておめでとうございませう。近畿青森県人会の皆様には、清々しく希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃から、南部町発展のため、温かいご支援とご協力を賜っておりますことに、心から感謝を申し上げます。

南部町ご出身の皆様には、霊峰名久井岳と清らかな馬淵川がおり

なす豊かな自然に囲まれた四季折々の美しい風景が心の中に鮮明に刻まれているものと拝察しております。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の位置づけが、インフルエンザと同じ五類相当に移行され、町の伝統的なイベントなどが4年ぶりに開催されました。

本年は、『町民も訪れた人も、心身ともに「お達者」になれる村』として開村した「達者村」が開村20周年を迎えることから各種記念事業を行う予定としております。

また、令和2年に全国デビューしたさくらんぼの新品種「ジュノハート」は、昨年の競りで15粒入り1箱が50万円の高値を付けました。町の特産とすべく栽培を奨励したことにより年々生産量も増加しておりますので、引き続き一大産地化に向けて取り組んでまいります。

ふるさととは、皆様にとって遠く
にありながらも、心の中に永遠に

残る場所です。その風景、人々、思い出は皆様の生活を彩り、力強い支えであり、原点でもあります。本年も南部町は、地域の繁栄と町民の皆様の幸福のために全力を尽くしさらに一層、住んで良かったと思えるまちづくりに、職員一丸となつて邁進したいと決意を新たにしております。

結びに、近畿青森県人会の皆様には、青森県との心の絆を大切にしていただいでいることに心から感謝申し上げます、新年が皆様にとって幸多きものでありますよう、お祈り申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。



ジュノハート (15粒入り1箱50万円)

大空へ夢をはこぶ坂道

五戸町長 若宮 佳一



大空へ夢をはこぶ坂道、五戸町は坂道の多い町です。平安時代末期から存在したみちのくの「奥大道」は江戸時代に入り、江戸を起点とする五街道の一つ「奥州街道」として整備され、町の中心部を南北に貫いています。奥州街道の三戸町蓑ヶ坂から南部町小向、五戸町浅水、五戸町中心部までの区間は、現在も良好な状態のまま残されていて、1996年文化庁の「歴史の道百選」にも選定されました。

坂の多い町を重さ5tの山車が通ります。9月の1週目の週末は五戸まつりです。稲荷神社、神明宮、八幡宮の五戸三社約5キロの

行程をお神輿や豪華な山車がねり歩きます。その標高差は約50mです。八幡宮のあるところは標高35m、神明宮は標高88mです。この坂道をみんなの力を合わせ「よいさく、よいせー、よいさつ」と引つ張ります。一番傾斜がきつところは堀合坂(図書館脇)です。傾斜15%の坂道を上る山車とそれを引つ張る引き子の勢いには、未来への希望を感じます。今年4年ぶりに通常開催の運びとなり、各山車組とも山車の制作には例年以上に気合が入りました。勇壮で絢爛な山車の運行は大いに盛り上がりました。

町には五戸馬肉、あおもり倉石牛、青森シャモロツクの三大肉を食べられるお店があります。「ごのへ三大肉」として売出し中ですので、そちらの方も合わせてご賞味お願いします。

近年、五戸町に新しく仲間が増えました。「五戸のおんこちゃん」です。町の木である「おんこ」の木です。神出鬼没でおいしい

ものがあるところに現れます。普段は「にこかこにこかこ」していただきますが、食べ物の前では目をカーッと見開き野生を解き放ちます。友達もいます。シロという名前の白馬の精のようなものです。オンコンミーズというおんこの実の精もいます。「五戸のおんこちゃん」検索よろしくお願いします。時代は流れました。どんな坂道でも上り続けましょう。五戸町の坂道は大空へ続いています。大空へ夢をはこぶ坂道、一緒に駆け上げましょう。

「未来へ挑戦する東通村へ」

東通村長 畑中 稔朗



新年あけましておめでとございませう。近畿青森県人会の皆様

おかれましては、益々ご清栄のことと心からお慶び申し上げます。

東通村は現在、少子化、人口減少、人口流出、長引く漁業の不振、地域経済の低迷、買い物弱者の増加等々、課題が山積しており、私は東通村発展のために、「未来へ挑戦する東通村へ」のスローガンのもと、六つの柱と二十九の政策を展開しております。

その中で、令和三年度より取り組んでおります「東通円卓会議」では、住民の皆様からそれぞれの集落が抱えている問題や課題について直接意見を伺うことができ、非常に有意義なものとなり、道路や側溝整備などの生活に密着した事業等、可能な限り対応して参りました。

さらに、「中学生議会」では、村の将来を担う生徒たちの貴重な意見を伺い、大変頼もしくそして誇らしく感じました。

いずれも私が大切にしている施策であり、来年度以降も継続して開催して参りたいと考えております。

す。

また、農家・漁師の方々との意見交換を通じて新たな施策を展開したほか、昨年度から住民主体による各種イベントを開催し、住民の積極的な村づくりへの参加が着実に進んでおります。

今後も村民が主役の村政運営実現に向けて、村民の声を村政に反映させるための施策を柱に、未来をつくる「ひとづくり」、未来を牽引する「しごとづくり」、一人ひとりに寄り添う「くらしづくり」、そして村民のいのちを守る「むらづくり」を実施すべく、施策を展開して参ります。

近畿青森県人会の皆様方には、郷土発展のために、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様の益々のご健勝とご多幸、ご活躍をお祈り申し上げます。新年のお祝いの言葉とさせていただきます。

梅田ドーチカの青森・岩手の県産品アンテナショップに
是非おこしく下さい!

決め手くん  わんこきょうだい 

  **青森・岩手**
ええもん
AOMORI・IWATE ANTENNA SHOP 

住所 大阪市北区堂島一丁目 堂島地下街6号 (梅田・ドージマ地下センター)

電話番号 06-6346-0888

営業時間 11:00 ~ 20:00

定休日 毎月第3日曜日 年末年始

地下鉄四つ橋線「西梅田」駅 南改札から南へ徒歩5分



新規メール会員募集中!

◀ご登録はこちらから。店舗で使える10%OFFの割引券を随時配信!

X(Twitter)を開設しました。

右の二次元バーコードよりアクセスいただくか X(Twitter) 検索で「青森・岩手ええもんショップ」と検索をお願いします。



かみゆの会「社会見学と 食事会」に参加して

杉田 清和(青森市)

9月24日、三県合同かもめの会秋のイベント「社会見学と食事会」が行なわれ、当日は秋晴れ?の下(しかし少々暑かった)、青森県から15名、秋田県から11名の参加がありました。全員が遅れることなく集合場所の阪急電車池田駅から、まず目指したのは「カップヌードルミュージアム」です。

ミュージアムでは「オリジナルカップヌードル」をわいわいがやがやと童心に帰って作成しました。食事は「がんこお座敷池田石橋苑」です。移動は腹ごしらえを兼ねて池田市役所まで歩き、送迎バスで向かいました。お座敷では美味しい食事に舌鼓を打ち、メンバーとの会話にあっちこっちで花が咲き、とても楽しい時間を過ごすことができました。今回は残念ながらながら岩手県からの参加がなかったですが、秋田県の方々とは

県を超えたお話ができ、とても有意義に感じました。



御堂筋ランウェイ2023 青森ねぶたに参加して

須郷 恵美子(鶴田町)

11月3日(祝) 秋晴れの下、御堂筋ランウェイ2023に東北絆まつりが参加(東北の県都を代表する6つの夏祭が一同に会するお祭り)

青森県からは青森ねぶたが出陣。

中型ねぶたの周りは、笛・太鼓部隊によるねぶた囃子、ミスター跳人グランプリを先頭に約30名の跳人(当県人会からは18名)で他を圧倒、大いに盛り上がりました。そして跳人以外にも当県人会から12名の応援参加があり、沿道から「ラッセラー、ラッセラー」の掛け声の連呼で気炎を上げました。青森県出身を誇りに思える1日になりました。



大阪中の島パルコでの バーベキュー

泰山 和子(南部町)

秋晴れの10月29日、北浜駅から450メートル、徒歩5分以内のとても地の利の良い中の島バラ園で、25名の参加でバーベキューを開催しました。

肉・野菜・焼きおにぎりが美味しかったです。飲み放題付きで、楽しく会話がはずみました。入会間もない、初参加の竹本さん・浜辺さんにはビールのお代わりをお運びしていただき嬉しかったです。年々年齢を感じることが多くなりました。お若い方の活躍を期待します。次回は食べ放題付きにして、皆さんのお腹がもっともつと満足・満腹のバーベキュー会にしたいと思います。



「八学光星ベスト8」 おめでとう！

戸澤 桐子(五所川原市)

今年の夏は新型コロナウイルスの5類移行に伴い、数年ぶりに激励会から野球応援をすることができました。8月4日、宿舎にて青森代表八戸学院光星高等学校選手団激励会を行いました。中澤主将以下、みなさん礼儀正しくて澁瀬とした挨拶が印象的でした。

8月12日の初戦は秋田代表明桜高校と隣県同士の対決となつてしまいました。7-0で完封勝利を収めました。

台風のため15日から16日に順延した3回戦栃木代表文星芸大付戦は6-3で勝利し、見事ベスト8進出を果たしました。

8月19日の準々決勝茨木代表土浦日大戦は、健闘及ばず2-9で敗れてしまい、八学光星の夏が終わってしまいました。

しかし、素晴らしい球児たちによる素晴らしい戦いでした。選手

のご家族とアルプスで一緒に応援し、みんなで寄せ書きした色紙を仲井監督にお渡ししたのも楽しい思い出になりました。

県人会としては毎試合大変多くの会員にご参集いただき、熱い応援を寄せながらも、熱中症等の体調不良者を1人も出さずに終えられたことが何より素晴らしい成果だと思います。みなさま、健康管理を万全にしてください、ありがとうございました。



活性化の光明見える

「むつ市」から

館野 寿俊(むつ市)



むつ市在住で当県人会のお仲間に加えていただいている館野です。

皆さんご承知のように、今年の6月に20年ぶりに県知事が変わりました。宮下知事は長くむつ市長を務めた方で、なんと現在44歳。県政史上最年少の知事とのこと。そして新しいむつ市長になった山本市長は宮下知事の秘書だったそうで、これまた若く40歳。ご多分に漏れず高齢化が進んでいる青森・むつ市にも、こと行政機関においては若返りが図られていて、若い力によって地域が活性化するのではないかと期待を寄せていま

す。心のどこかで静かなままのむつ市であって欲しいと思います。

私はたとえば、タケシヨウ株式会社という不動産会社の役員をしています。取引先が大阪市や堺市にあることから稀に大阪に赴くことがあります。どうしても皆さんの集まりに顔を出させていただく機会を逃しており、いずれそう遠くない先で皆さんに直接ご挨拶をしたいと目論んでいます。

どうやら今年も長く続く冬がやってきました。大阪や京都、奈良など、青森と比べて温暖と言つていい気候をお過ごしの方を羨ましく思います。一方で真白な世界を堪能できる日常に喜びを感じつつ、皆さんにお目にかかる日を楽しみにしながら、また忙しい毎日を過ごしていきます。皆様、お体ご自愛くださいませ。



青森県観光案内

中 田鶴(青森市)



皆様こんにちは。青森市出身の中です。

添乗員の仕事柄青森に行くこともあり、今回この記事を担当させて頂きます。と言いましても青森県内で観光に行く所は大体決まっているのですが、その中でも私が特に良かった所は定番ではありませんが、奥入瀬溪流と、仏ヶ浦の遊覧船です。

奥入瀬溪流では「銚子大滝」から「白糸の滝」という所まで、約30分ほど歩く事が多いです。手付かずの木々が生い茂る中歩いていますと、沢山の苔やシダ植物に囲まれて森林浴を楽しめます。奥入瀬溪流を歩いていると濡れた土

の匂いや、時々ポツンと1輪の花があつたりと、私達の視覚や嗅覚まで楽しませてくれます。

そしてもう一つは仏ヶ浦遊覧です。この光景は世間では「極楽浄土を思わせる神秘の秘境」と言われているそうです。佐井港から仏ヶ浦まで船に乗り、途中で上陸するのですが、船から見る景色に圧倒されました。

そして薄い緑色の海の水に映る奇抜な岩。仕事かなのを忘れて、思わず何度もカメラを構えてしまいました。

最初に奥入瀬溪流と仏ヶ浦がお話しましたが、十二湖の青池、紫陽花が咲き誇る龍飛の階段国道など、まだまだたくさんあります。

今年の田んぼアートも素晴らしい「ワンピース」を展望所から眺めることができました。私の写真は仕事で新潟のみみじ園に行った、11月中旬の写真です。

▼階段国道



◀仏ヶ浦



奥入瀬溪流▶



▲青池

広報誌を作成して

瓢 優美(南部町)

新年明けましておめでとうございませう。交野市に住む瓢(ひさご)です。

県人会に入会後、2022年の夏の甲子園応援以来、県人会行事には参加できずじまいでしたが、昨年は会報誌作成に携わらせていただきました。仕事を終え、保育園に子供の迎えに行き、夜中に会報誌の編集作業をしての生活は、体がしんどかったのを覚えています(笑)

今年度から仕事でも社内誌を作成することになり、昨年の会報誌作成の経験が今の仕事に活かせているので、「あのとき頑張つて良かったなあ」と身に染みて感じています。

プライベートでは、この春に息子が小学校入学になるので、子供中心に新しい生活が始まるので、子育ても仕事も共に精進してまいります。



さて、県人会行事ですが、近年の夏は、異常な暑さでアルプススランドでの応援は体力的にしんどい(笑)ので、春の選抜大会に参加できれば良いなあと思っております。

最後に、この場をお借りしてご挨拶できる機会をただけて光栄です。感謝いたします。2024年も皆様にとって、ご多幸の年になりますよう祈念いたします。

北富内科

- 内科一般 ● 径鼻・径口胃カメラ
- 大腸カメラ ● 超音波検査(エコー)
- 検診一般 ● 健康相談

医療法人社団 北富内科

理事長 北富 千賀子
昭和35年度弘前高校卒業

院長 金城 東浩
医員 金城 和美

交通アクセス ▶ 県商行きバス
星陵台1丁目バス停より東へ50m

診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
AM9:00~12:00	○	○	○	○	○	○	×
PM2:00~ 5:00	○	○	×	○	○	×	×

TEL078-709-5101 〒655-0032 神戸市垂水区星が丘1-4-19

かまこんの忘年会

11月26日(日) かまりっこの会の忘年会がありました。

会員でもありオーナーでもある秋元さんの店「三陸寿司」で開催しました。

「12〜13人な」と言われていたのに、17人の参加で会場いっぱいになりました。

お造り・海鮮鍋・身欠き鯨・ニシンの切り込み・すしこ・赤かぶや大根の漬物・大根とニシンの麴漬け・締めはうどんでした。また成田淳子さんから、食用菊の酢の物の差し入れがありました。懐かしく美味しい味にみんな舌鼓を打ちました。なかなか食べられない郷土の味は美味しかったです。

お酒は、八仙・田酒・豊盃・ビールと出てきました。以前は田酒を好む人が多かったのに、今回は豊盃を飲む人が多く、好みも変わっていくんだと感じました。

県人会会員は、昨今県外の方が増えてきました。若い方も増えて

きました。

みんなで楽しい会を開催し懇親を深めていきたいと思えます。



かまこんの会初会

11月19日(日) わげものの会初会合が開かれました。年末を迎え、参加者は10人ほどでしたが楽しい会でした。

話題もシニアの方々とは違い、とても新鮮に感じました。働き盛りの人にとっては貴重な時間かと思えます。今後は今までの県人会とは別次元の集まりになっていくことと思います。楽しみです。



2024年2月24日(土) (予定)
第19回全国青森県民謡コンクール

2024年2月25日(日) (予定)
第21回全国津軽三味線コンクール

審査員 二代目今重造・小山貞・工藤武・木乃下真市

会場 **箕面市立メイプルホール**
両日とも
〒562-0001
大阪府箕面市箕面5-11-23
TEL 072-721-2123
入場料 (1日) 前売り 2,500円
当日 3,000円

● 出場者募集中

箕面市立メイプルホールへのアクセス方法

- 阪急宝塚線「石橋阪大前」で箕面線に乗り換え「箕面」下車 徒歩7分(阪急梅田十三より)
- 大阪モノレール「堂ヶ池」下車 阪急宝塚線に乗り換え「石橋阪大前」駅で阪急箕面線に乗り換え「箕面駅」下車 徒歩7分(伊丹空港より)
- 地下鉄御堂筋線「千里中央」下車 阪急バスにて「千里中央」から「箕面警察署前駅」下車(新大阪駅より)

■ 主催 青森県郷土芸能協会
■ 共催 公団住人箕面メイプル財団

青森県郷土芸能協会 (大阪大会実行委員会事務局)
Tel 090-9883-2589 (地谷英明)
公式サイト <http://www.jyonkara.com/>
Facebook <https://www.facebook.com/aomoriikenmiyo>



デザイン・印刷 アットフリー

檜垣達也

〒665-0033

兵庫県宝塚市伊子志 3-16-48

☎ 0797-74-1146

メール info@atfree.biz



広島青森県人会 顧問

石塚則昭

(大鰐町出身)

〒733-0035

広島市西区南観音2丁目9-21-304

☎ 082-294-8546 携帯 090-6835-6099

新入会員紹介

成田 淳子さん

(五所川原市)



はじめまして、令和5年7月に入会しました。

五所川原市出身の成田淳子です。都会への憧れから故郷を離れて50年にもなりました。

私の心のふるさととは岩木山です。春に笑い、夏に滴り、秋に粧い、冬に眠る、四季折々のその姿は、人生にも似ているようにさえ思っています。人生100年時代となりました。同郷の皆様のお仲間として、共に過ごせる時間をとても嬉しく思っています。これからどうぞ宜しくお願い致します。とつばれこ。

浜辺 竜治さん

(風間浦村)

今年から青森県人会に入会させて頂きました。また浜辺です。

出身は下北の大間の隣の村の風間浦です。京都で植木屋をしたいと思いい高校を卒業してから京都市に住んでおります。

11月3日の御堂筋ランウェイでは、家族でねぶたに参加させて頂きました。

今後いろいろな行事で、同じ青森出身の方と会える事を楽しみにしております。



竹本 圭秀さん

(黒石市)



青森から東京に住み27年、大阪に住み始めてもうすぐ2年が経ちます。

話し相手が欲しいので、皆様とお話が出来ることが嬉しいです。

宜しくお願い致します。

竹本さんに初めてあったのは10月でした。背が高く陽気で、仕事は営業ですか？と聞きたかったです。

青森を出てから言葉で苦労をしたそう、津軽弁の会の「かまりっこの会」に思わず誘ってしまいました。呑んで食べてしゃべって！県人会で楽しんで頂きたいと思いました。(小宮山書く)



青森市 のつけ丼



スナック サンジュ

〒542-0084

大阪市中央区宗右衛門町5-4

日宝宗右衛門町エイトビル4階3号

☎06-6212-5020



みんなで未来を育てるまちに

青森市

AOMORI CITY




と
十和田刊
TOWADA "HIBI" COLLECTION.



あなたらしい暮らしがここ「とわだ」にあります。



十和田市

Towada City







新田の歴史が彩る日本のふるさと




青森県 つがる市

TSUGARU CITY



ひと・産業・文化が輝く

北の創造都市



八戸市

馬・牛・鶏

このへ三大肉のハイモニター

【このへ三大肉ガイド】
ダウンロードはこちら



おんこちゃん

みんながつながり達者に暮らす
笑顔あふれるまち 南部町






歴史と海・山・川が
人と人をつなぐまち 鱈ヶ沢



鱈ヶ沢を拓いた
天童山

Ajigasawa Tendou-Yama

<https://www.town.ajigasawa.lg.jp>

<http://www.town.fujisaki.lg.jp/>



藤崎町

りんご『ふじ』発祥の地
緑あふれる食彩の里



岩木山（つがる市よりの眺望）



ひがしどおり村
寒立馬と能舞の里 **東通村**
<http://www.vill.higashidoori.lg.jp>

日本海の夕日を見ながら おいしいピザとハンバーグはいかが



ローリエ

鱈ヶ沢町舞戸海岸通り
TEL : 0173-72-5993





越前 良子

(鯨ヶ沢町出身)

☎080-1512-6955

栗生 順子

(黒石市出身)

☎090-1152-2558

小宮山 さき子

(つがる市出身)

☎070-6541-3535

杉田 清和

(青森市出身)

☎090-8218-7855

須郷 恵美子

(鶴田町出身)

☎090-9218-6837

丹藤 豊司

(弘前市出身)

☎090-9113-5874

檜垣 彰子

(むつ市出身)

☎090-9696-2281

古川 マツエ

(中泊町出身)

☎090-3722-9914

安田 良造

(つがる市出身)

☎090-1910-1647

泰山 和子

(名川町出身)

☎090-4296-1269

カネショウ株式会社



りんごのふる里で生まれた味
カネショウのりんご酢たちです

本社:弘前市蔵王町15-23
工場:平川市日沼裏田30-12

フリーダイヤル 0120-30-0231

令和6年度事業計画（案）

	主要事業案内	理事会予定日	他県人会行事
1月	会報誌発行	1/9	京都青森県人会総会・懇親会 広島青森県人会総会・男子駅伝
2月	定時総会・新春懇親会2/4		中部青森県人会総会・懇親会 和歌山青森県人会総会・懇親会
3月	甲子園選抜（光星学院・青森山田） かもめの会総会3/17	3/12	
4月	花見		
5月	カラオケ会	5/14	
6月	芸能発表会6/8 県人会便り発行		
7月	三県合同納涼ビアパーティ	7/9	
8月	夏の甲子園		
9月		9/10	
10月	バーベキュー		東京青森県人会 青森人の祭典
11月	かまりっこの会忘年会 忘年カラオケ会	11/12	
12月	かもめの会忘年会		

三 上 整 骨 院

〒555-0001

大阪市西淀川区佃3-14-29

☎&Fax 06-6471-3664

編集後記

明けましておめでとうございませす。会員の皆様におかれましては、穏やかな良いお年をお迎えのことと思ひます。

おかげさまで、会員相互の親睦を図り、ふるさと青森の近況などを伝えることを目的に刊行してまいりました会報誌「近畿とおもり」も今年で第68号の発刊になります。

3年余りに渡り苦しめられた新型コロナウイルスも昨年5月に2類から5類に移行、流行もやや下火となり、気を付けながらですが、近畿青森県人会で予定された各イベントは全て無事に開催することが出来ま

した。各イベントでは会員同士の交流が増えたことにより、3年振りの笑顔が溢れておりました。今年も皆さまに喜んで頂けるイベントを用意して、皆さまのご期待に応えていきたいと考えております。

本号では、慣れない編集作業で、至らない点が多々あったかと存じますが、ご容赦頂きますと幸いです。令和6年に突入しました。今年も皆さまにとって良い年になりますようお祈り申し上げます。

〈編集委員〉

杉田 清和・小宮山 さき子
須郷 恵美子・檜垣 彰子・瓢 優美



発行 近畿青森県人会

2024 新年号 令和6年1月発行 68号

〒53010001

大阪市北区梅田1-3-900

☎ & FAX 06・6341・2231

尾上町（現平川市）出身

山口 義久

京都青森県人会事務局
関西鏡ヶ丘同窓会事務局

〒606-0807

☎ 075 (701) 5767
京都市左京区下鴨泉川町55



仕事に、会議に、趣味に、
いろいろな使い方ができます!

パソコンひとつであなたの仕事場に!
快適なWi-Fi環境、高速複合機でストレスフリーな作業をお約束します。



起業や創業を考えている方に最適なスペースです。パーソナルオフィスは初期投資のかからないオフィスとして魅力です。



定員別(4~12人)4タイプの会議室に、無料で使える大型電子ホワイトボードを装備。面接、商談、カルチャースクール、研修会とマルチに対応。



東北電力よりソーキッキングスタジオ e-TO(イート)には料理教室・プレゼンに便利な大型モニターも。

東奥日報新訂ビル New's 2F
 coworkingspace
seven Cs

〒030-0801 青森市新町2丁目2-11
営業時間/9:00~19:00
定休日/毎月第4日曜日・年末年始
TEL:017-764-0220
✉ 7cs-info@toonippo.co.jp
🌐 https://www.toonippo.co.jp/feature/news-to-o/top



今日もこの街で灯ります。

家族を想うやさしさが。
ありがとうが。
楽しいが灯る。

一人ひとりの情熱や、悔しさ、
そして夢。

すべての人生が
灯り続けますように。

あなたのそばに、
電気は灯る。

